

## 令和3年度（2021年度）お茶の水女子大学入学者選抜に関する 変更の予告について

令和元年5月22日  
お茶の水女子大学

本学の入学者受入れ方針に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」）を多面的・総合的に評価するために次のとおり変更します。

### ○ 入試区分の変更（名称の変更）

入試区分については、多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ、各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から、次のように変更します。

<変更前>		<変更後>
・「一般入試」	→	「一般選抜」
・「AO入試」	→	「総合型選抜」
・「推薦入試」	→	「学校推薦型選抜」
・「帰国子女・外国学校出身者特別入試」	→	「帰国子女・外国学校出身者特別選抜」
・「私費外国人留学生特別入試」	→	「私費外国人留学生特別選抜」

### ○ 一般選抜

#### 1. 募集人員の変更

理学部数学科、化学科、生物学科、生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科では、別表1のとおり募集人員を変更します。

#### 2. 大学入学共通テストの利用方法

一般選抜を受験する全ての受験生に「大学入学共通テスト」を原則として5～6教科7～8科目（一部の学科の後期日程においては、3教科3～5科目）を課します。

##### (1) 英語認定試験の利用方法

英語4技能を適切に評価するため、一般選抜を受験する全ての受験生に、大学入学共通テストの枠組みにおいて、大学入試センターが認定した民間の英語資格・検定試験（以下、「認定試験」）の受検を課します。なお、受験生の公平な受験機会の観点から、大学入試センターが認定した全ての認定試験を対象とし、CEFR対照表においては「A2」以上を取得していることを出願資格とします。ただし、目的や内容の異なる複数の認定試験の結果を、統一の基準で公平・公正に点数化することは、現状では難しいと考えられるため、加点対象とはしません。

（なお、認定試験の実施状況や経済的負担等のやむを得ない理由で、認定試験を受検できず出願資格を証明することができない場合には、その理由を申し出ることとします。）

## (2) 記述式問題の利用方法

一般選抜を受験する全ての受験生に、国語と数学の記述式問題の受験を課します。

国語については、大学入試センターから提供される段階別評価に基づき点数化し、マークシート式問題の成績に加点します。具体的な配点については、決定次第公表します。

数学については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

## 3. 出題教科・科目及び配点の変更

### (1) 理学部数学科（後期日程）

大学入学共通テストで受験を要する教科を5教科7科目から3教科5科目へと変更します。個別学力検査は、課さないこととします。

各教科・科目の配点は、別表2のとおり変更します。

### (2) 理学部情報科学科（後期日程）

個別学力検査では、数学に代えて論述試験を課すこととします。

各教科・科目の配点は、別表2のとおり変更します。

## ○ 総合型選抜（新フンボルト入試）

### 1. 募集人員の変更

文教育学部人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、生活科学部人間生活学科、心理学科（以下、文系学科と呼びます。）では、当該学科全体で12名を募集します。

理学部数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科、生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科（以下、理系学科と呼びます。）では、別表1のとおり各学科別に募集人員を定めます。

### 2. 選抜方法の変更

理系学科については、プレゼミナールの受講を課さず、書類審査にて第1次選考を行うこととします。第1次選考合格者に対して、第2次選考（現行の実験室入試と類似した内容）を11月下旬ごろに行うこととします。ただし、実験室入試の内容について、生物学科では「自主研究のポスター発表と質疑応答」もしくは「論述試験と口述試験」のいずれかを出願時に選択します。人間・環境科学科では自主研究のポスター発表・質疑応答に代えて面接（口述試験を含む）を課すこととします。

なお、文系学科については、これまでの新フンボルト入試と同様、第1次選考としてプレゼミナールを課し、出願書類とあわせて総合的に選考し、第1次選考合格者に対して、第2次選考（図書館入試）を10月下旬ごろに行います。

○ 学校推薦型選抜

1. 募集の停止

理学部数学科、物理学科、生物学科、情報科学科では、学校推薦型選抜を実施いたしません。なお、理学部化学科、生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科では、現行入試と同様、引き続き実施いたしません。

(上記の学校推薦型選抜を実施しない学科については、現行の推薦入試と同時期(11月)に総合型選抜(新フンボルト入試)を実施する予定です。)

文教育学部の全学科及び生活科学部人間生活学科、心理学科では、学校推薦型選抜(現行推薦入試)を、引き続き実施いたします。

○ 帰国子女・外国学校出身者特別選抜

特に変更なし。

○ 私費外国人留学生特別選抜

特に変更なし。

学部	学科等	入学定員	一般選抜		特別選抜			総合型選抜 (新フンポルト入試)	
			前期日程 (*1) (*2) (*4)	後期日程	学校推薦型選抜	帰国子女等 (*4)	私費外国人留学生		
文教育学部	人文学科	55	32	11	12	若干名	若干名	文系全体で 12名 (*2)	
	言語文化学科	80	64	—(*3)	16	若干名	若干名		
	人間社会科学科	40	26	4	10	若干名	若干名		
	芸術・表現行動学科	舞踊教育学専修プログラム	27	12	—(*3)	3	若干名	若干名	—(*5)
		音楽表現専修プログラム		5	3	4	若干名	若干名	
計		202	139	18	45				
理学部	数学科	20	14	3	—(*6)	若干名	若干名	3	
	物理学科	20	14	3		若干名	若干名	3	
	化学科	20	15	3		—(*7)	若干名	2	
	生物学科	25	17	3		若干名	若干名	5	
	情報科学科	40	23	10		若干名	若干名	7	
	計		125	83		22			20
生活科学部	食物栄養学科	36	31	3	—(*6)	—(*7)	若干名	2	
	人間・環境科学科	24	17	5		—(*7)	若干名	2	
	人間生活学科	39	32	—(*3)	7	若干名	若干名	文系全体で 12名 (*2)	
	心理学科	26	23	—(*3)	3	若干名	若干名		
	計		125	103	8	10			4
合計		452	325	48	55			24	

〔注〕  
 (\*1) 「高大連携特別選抜」一本学附属高等学校からの学校推薦型選抜—(3学部で定員10名)は、前期日程に含む。  
 (\*2) 文系学科(文教育学部人文学科、言語文化学科、人間社会科学科及び生活科学部人間生活学科、心理学科)における「総合型選抜」の募集人員(12名)は、前期日程に含む。  
 (\*3) 文教育学部言語文化学科、文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」、生活科学部人間生活学科、生活科学部心理学科では、前期日程のみの募集で、後期日程の募集は行わない。  
 (\*4) 「帰国子女等」は「帰国子女・外国学校出身者特別選抜」を表し、合格者(若干名)は、前期日程の合格者に含む。  
 (\*5) 文教育学部芸術・表現行動学科では総合型選抜の募集は行わない。  
 (\*6) 理系学科(理学部全学科及び生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科)は、学校推薦型選抜の募集は行わない。  
 (\*7) 理学部化学科、生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科では、帰国子女・外国学校出身者特別選抜の募集は行わない。

## 令和3年度入学者選抜方法変更の予告について

○ 学部一般入試(後期日程)理学部 大学入学共通テスト及び個別学力検査の配点、科目の変更

## ○ 大学入学共通テストで受験を要する教科等(数学科)

学科等	選抜方法 の区分	大学入学共通テストで入学志願者に 解答させる教科・科目名		受験を要する 教科・科目数
数 学 科	後期 日程	数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」と、「数学Ⅱ・数学B」、「簿会*」、「情報*」から1科目の計2科目 (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」)から2科目 (「英語—リスニングテストを含む—」、「独語」、「仏語」) から1科目	3教科 5科目

\* 印科目の受験資格

大学入学共通テストの「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程修了(見込み)者に限る。

## ○ 試験教科・科目別配点【後期日程】(数学科、情報科学科)

試験区分 教科・科目等	大学入学共通テスト						本学の試験			合計
	国語	*1 地歴 公民	*2 数学	*2 理科	外国語	計	数学	論述 試験	面接 (口述試験 を含む)	
数 学 科	—	—	400	50	50	500	—	—	—	500
情 報 科 学 科	100	50	400	200	250	1000	—	200	—	1200

〔注〕

\*1 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」から1科目選択

\*2 大学入学共通テスト「数学」及び「理科」はそれぞれの教科の2科目の合計点とする。